

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月 4日 更新

事務事業名		ごみ収集事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり	所属部	総務部	課長名	北里 利朗	
	施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課	担当者名	上村 恭子	
	施策の柱	21	リサイクルの推進	所属班	環境衛生班	(内線)	1143	
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 10188	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 合志市 廃棄物の処理及び清掃に関する	成果優先度評価結果 : ⑥ コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	【家庭系一般廃棄物処理】家庭から排出されるごみを収集し、一部事務組合の処理施設で適正に処理する。 ●具体的な内容 地域住民へごみの分別ルール等の周知徹底、ごみに関するトラブルの対応、ごみ収集に必要な業務の民間委託等資源物の持ち去り行為に対する取締り、電動式生ごみ処理機の貸し出し 【事業系一般廃棄物処理】事業所から出る一般廃棄物について、処理の方法等の周知・指導等を行う。 ●具体的な内容 各事業所から排出される一般廃棄物の量を管理し、適時ごみ減量への助言・指導の実施 循環型社会実現に向けての取り組み 保育所に対する食育研修の実施
【業務の流れ】	ごみ分別に関する周知冊子等の作成(ごみ収集予定表、ごみの分け方出し方) 旅行何い・入札・作成委託契約・内容の校正・納品・支払・市民への配布 収集運搬委託(民間2社) 旅行何い・見積徴収・委託契約・委託業務実施・委託費支払 ごみに関するトラブルの対応 随時状況に応じて対応 ごみ減量に関する取り組み(生ごみ処理機の貸し出し) 受付・貸出・アンケート集計 循環型社会推進のための啓発 廃棄物に対して食育研修を実施 資源物の持ち去り行為に対する取締り 早朝に持ち去りパトロールを実施。行為者に対して直接指導を行う 事業系一般廃棄物の管理 収集運搬許可業者からの月報により、各事業所ごとのごみ量を把握。随時、事業所に対し分別等についての周知を図る
【主な予算費目】	報酬、職員手当、賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、役務費、備品購入費
【意見や要望】	・ごみ一時保管所に違反ごみが投棄されるケースがあり、地域から再分別等の対応が大変という声が上がっている。 ・事業所の廃棄物収集運搬許可業者より、事業所の分別が徹底されていないが、仕事を請けている立場上指導が難しいという相談があった。 【災害(台風15号)に関すること】 ・災害廃棄物の収集について、合志市は仮置場への拠点回収方式を採用したが、通常のごみステーションでの回収方式で対応してほしかったという意見があった。 ・仮置場として利用した土地にグラウンド等も含まれており、普段の利用者からは一時利用できなくなることによる不満の声があった

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	業者選定、見積徴収、業者決定、契約事務、請求書受付、ごみ収集運搬量の照合、支払事務を行った。廃棄物収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理を行った。資源物持ち去り禁止看板を各ごみ収集所に掲示し啓発を行った。持ち去りパトロールを実施した。ごみ収集予定表とごみの分け方・出し方(冊子)を作成し市民に分別等の周知を行った。各地区でごみ減量説明会、保育所に対する食育研修を実施した。生ごみ処理機の貸し出しを実施した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 平成27年度末にごみの分け方出し方を作成・配付した。市民に分別方法をあらためて周知することで、ごみの再資源化の推進に繋げる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由 ごみ収集運搬委託料の減
→ ア: 支払事務件数		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ごみ		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: ごみの量 t → イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正に回収する		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 適正に回収されたごみの量 t → イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 排出されたごみを適正に回収することにより、快適で住みやすいまちを実現することに繋がるため、成果指標を「適正に回収されたごみの量」とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア 件		64	64	64	64	64	64	64	64
② 対象指標	ア t		13,581	13,741	10,000	13,897	13,911	14,061	14,164	14,243
③ 成果指標	ア t		13,581	13,741	10,000	13,897	13,911	14,061	14,164	14,243
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円				163			
		都道府県支出金	千円			170				
		地方債	千円							
		その他	千円	53,559	51,255	54,338	55,001	57,087	57,087	57,087
		繰入金	千円							
	一般財源	一般財源	千円	117,307	129,184	133,636	136,236	123,332	123,332	123,332
		(A) 事業費計	千円	170,866	180,439	188,144	191,400	180,419	180,419	180,419
		(A)のうち指定経費	千円	1,543	1,519	1,543	1,152	1,489	1,489	1,489
		(A)のうち時間外、特勤	千円	189	196	189	189	135	135	135
		(B) 人件費計	千円	6,653	5,617	6,374	0	6,374	6,374	6,374
トータルコスト(A)+(B)	千円	177,519	186,056	194,518	191,400	186,793	186,793	186,793	186,793	
人件費	正規職員従事人数	人	8	5	7	0	7	7	7	
	延べ業務時間	時間	1,670	1,410	1,600	0	1,600	1,600	1,600	

事務事業名	ごみ収集事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 平成27年度は、13,897 tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表とごみの分け方出し方（冊子）の作成など、市民に対し分別の周知等も行った。また、広報誌で排出された燃やすごみの量を周知しごみ減量のポイントを連載した。市民一人一日当たりのごみの量については、平成26年度と比較し3グラム減少した。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。 昨年度より、ごみ減量20%削減を目指し、各地区で市民を対象とした説明会を実施した。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 環境美化推進員によるごみ分別の指導、違反ごみの再分別指導・実践により、ごみが適正に回収できるようになる。 また、適正処理困難物は環境衛生課職員により適正により処理している。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 分別を徹底することにより、さらに資源物リサイクルを進められる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 今後も、市の人口増に伴いごみの量も増加する。分別を徹底することにより削減に努める。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業者選定等の事務やごみ排出に関する苦情もあり、正規職員以外では難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民のごみを収集するので公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律等により、一般廃棄物の処理は市が行う事務であり適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成27年度は、13,897 tのごみを回収した。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所（ごみステーション）から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表やごみの出し方分け方（冊子）の作成など、市民に対し分別の周知等も行った。また、広報誌で排出された燃やすごみの量を周知しごみ減量のポイントを連載した。市民一人一日当たりのごみの量については、平成26年度と比較し3グラム減少した。今後も分別と再資源化を徹底し、さらにごみの減量化に努める。  
 今年度より、ごみ減量20%削減を目指し、各地区で市民を対象とした説明会を実施した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						